

幼稚園だより

5 月 号

令和3年 4月30日

荒川区立花の木幼稚園

園長 岩崎 昇

【私の子ども観】



子どもはダイヤモンド

目指す幼稚園像

園長 岩崎 昇

さわやかな新緑の生える季節となりましたが、緊急事態宣言が再々発令されました。しかし、私たちは困難な状況の中、一年間を経験しました。その経験を活かし、コロナを賢く恐れ、園児たちの楽しい園生活を支えてまいります。

さて、年頭にあたり、私が目指す幼稚園像をここで示したいと思います。

- (1) 友だちと楽しい、先生と楽しいと感ずることのできる幼稚園
- (2) 幼児とともに伸びゆく教職員のいる幼稚園
 - ・ 幼児にとっての最大の教育環境は教師自身である
 - ・ 三者から信頼される教師として ①幼児から ②教職員から ③保護者から
- (3) 家庭、地域と共に伸びゆく幼稚園
 - ・ 幼稚園と家庭、地域との相互理解の上に成り立つ教育
- (4) 子どもを預けて安心できる幼稚園
 - ・ 幼児を事故、けがなく帰宅させることが最優先
 - ・ 危機管理意識の高い教職員
 - ・ 報告、連絡、相談体制の徹底

教職員一同チーム花の木として団結し、保護者の皆様ともしっかりとつながり、合言葉を「子どもはダイヤモンド」でいきます。よろしくお願いいたします。

今月の保育のねらい

《3歳児：ひよこ組》

- ・ 教師や友だちに親しみを感じながら遊ぶことを楽しむ。
- ・ 園生活の流れを知り、身の回りのことをやってみようとする。

《4歳児：こあら組》

- ・ 友だちや教師とかかわりながら、好きな遊びを十分に楽しむ。
- ・ 春の自然や生き物に触れ、身近な動植物に関心をもつ。

《5歳児：いるか組》

- ・ 戸外で十分に体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。
- ・ 自分の思いを伝えたり、友だちの考えを聞こうとしたりしながら、生活や遊びを自分たちで進めようとする。

